



【トラックメイト Pro20 周年】老舗運送会社「オキマストランスポート」が語る「効率化」と、これからの物流

【記事の要点3つ】

- ✓ 現場に合わせた柔軟な運用とマスターデータ活用により、運転日報入力を 1 分以内に短縮するなど高い業務効率化を実現
- ✓ 日報・請求・給与データの完全連携により、請求漏れやミスを防ぎ、規制強化時代に対応する「守りのDX」を確立
- ✓ 今後は原価管理など「攻め」の領域へ進化しつつ、デジタル化と人の信頼関係を両立させた持続的な物流経営を目指す

本記事は、老舗運送会社オキマストランスポートが、20年にわたり「トラックメイト Pro」を活用してきた実績を通じ、物流業界における効率化と今後の方向性を語った内容である。

同社の大きな特徴は、システムを現場に無理に合わせるのではなく、自社の運用に適した形で使いこなしている点にある。特に、マスターデータの蓄積により日報入力を極限まで簡略化し、1分以内で処理できる体制を構築している。また、あえて細かな管理を徹底しすぎない「余白」を残すことで、現場負担を抑えた持続可能な運用を実現している。

さらに、日報データが請求や給与へと連動する仕組みにより、転記ミスや請求漏れを防止。担当者が変わっても業務品質を維持できる体制は、規制強化が進む物流業界において重要な「守りのDX」として機能している。

一方で、業界全体ではコンプライアンス対応に伴う書類業務の増加が課題となっており、デジタル化なしでは対応が困難な状況にある。こうした中でも、同社はシステムだけでなく、長年にわたるサポート担当者との信頼関係を重視しており、人とITの両面が運用を支えている点が特徴的である。

今後は、売上・給与管理にとどまらず、原価管理といった「攻め」の領域への展開を視野に入れている。月次一括入力など現実的な運用改善を取り入れながら、収益の可視化を進めていく方針だ。

総じて本記事は、物流企業にとって重要なのは「現場が迷わず正確に動ける仕組み」を軸に据えることであり、システムはそのための長期的なパートナーであることを示している。

元の記事を読む



株式会社タイガー
東京都千代田区神田猿楽町 2-1-14 A&Xビル 2F
<https://www.tiger-inc.co.jp/>
03-5283-7232

物流ソリューションエキスパート

